



いきいき仲間たち

詩を書くことが生きるモチーフになる

広報もばら 詩の選者
齋藤 正敏さん

広報もばらに詩の投稿欄が開設された当初から選者をしていただいている齋藤正敏さん。「当時、週刊誌で選者を務めたり、茂原で詩の教室を始めたり、精力的に活動していた。そのことがきっかけで、市から声をかけていただいた」といきさを語ります。今年32年目を向かえ、250篇に迫る数の詩に選評を付け広報に掲載してきました。

齋藤さんにとって、詩とは生き方そのもの。名のある詩人に感銘を受け、高校生の頃から書き始めた詩は、どんなときもそばにありました。「僕自身、詩の投稿少年で“高校時代”という雑誌にたくさん掲載させてもらった。若い頃の経験があったからこそまで続けてこられた」と振り返ります。全国規模の日本現代詩人会や千葉県詩人クラブなどの役員をしていた他、茂原では現代詩の会の講師を務め、同人誌“光芒”を出版するなど、現在も幅広く活動しています。

「茂原市文芸協会をはじめ、市の協力体制など、この地域は熱い思いを持った人の多い文化圏だと

思っている。ただ・・・広報の詩の応募はあまり多くないんですよ」と苦笑い。「広報には良いもの」という気持ちから、掲載する方に偏りが出てしまうことが悩みの種だそう。

「こういった文化がより広がり、応募者が増えれば、掲載する詩にも幅が出てくる」とし、これから詩を書き始める方へ「何を表現したいのか。情景は思い浮かぶかなど、詩を深掘りしてほしい。また、どの場面を切り取るのか。得意な題材を探すのもいい」と期待を込めアドバイス。

齋藤さんも応募された詩を読むことを楽しみにしています。「とにかく書いてみてほしい。詩を書くことは生きること。感じたことを言葉にすることが大事」と言います。身近なことを詩に乗せて、広報もばらからあなたの生き方を伝えてみませんか？

詩の応募方法は15ページをご覧ください。
現代詩の会 会員募集中
問合せ 齋藤 ☎(23)3310

防災・防犯に関する情報をメールで配信

**もばら安全・安心メールを
ご利用ください**

登録

右のQRコードを読み取るか、下記メールアドレスに空メールを送信後、返信されたメールに記載されている手順に従って登録してください。

touroku.mobara-city@raidan2.ktaiwork.jp



※高齢者等を対象に、防災情報を自宅の電話・FAXに配信するサービスも行っています。

問合せ 防災対策課(4階) ☎(36)7580 FAX(20)1602

| 今月の日曜開庁 | 7月23日⑩ 8時30分～17時15分 |
|--------------|---------------------|
| 市民課(2階) | ☎(20)1502 |
| 市民税課(2階) | ☎(20)1577 |
| 収税課(2階) | ☎(20)1578 |
| 本納支所(ほのおか館内) | ☎(34)2111 |
| 証明書等交付時間を延長 | 毎週水曜日 19時まで |
| 市民課(2階) | ☎(20)1502 |

※一部取り扱えない業務もありますので、詳しくはお問い合わせください。

| 日曜・休日当番医 | 診療時間 9時～17時 | |
|----------|--------------------|-------------------------|
| | 《内科系》 | 《外科系》 |
| 7月 2日⑩ | 宍倉病院 ☎(24)2171 | 宍倉病院 ☎(24)2171 |
| 7月 9日⑩ | 東部台医院 ☎(22)2455 | 南洲会長生クリニック ☎(32)1821 |

※都合により、変更する場合があります。救急患者が優先となります。消防本部☎(24)0119、FAX(25)8448へお問い合わせください。

防災行政無線が再確認できます

しみんは 1 1 9

☎0120(438)119
(通話無料)

【人口と世帯数】 令和5年6月1日現在

- 総人口 86,964人 ●世帯数 41,793世帯
- 男 42,998人 ●女 43,966人

【5月中の動き】

- 転入 256人 ●転出 249人 ●出生 46人 ●死亡 98人